

Library

町生涯学習センター図書室からの12月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の貸出について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

作家生活20周年の集大成となる1冊

伊坂 幸太郎著 / 『ペッパーズ・ゴースト』



朝日新聞出版

小説

中学校の国語教師である檀は、ある条件下で他人の明日が少しだけ見える特殊能力を持つ。彼は生徒から、奇妙なコンビが暴れまわると小説原稿を渡されるが、その小説内の2人組「ネコジゴハンター」とは…？物語の中に巻き込まれていくような感覚で面白く楽しく、それでいて考えさせられる、エンターテインメント長編です。

クリスマスのすてきな魔法の旅

J.K.ローリング著 / 『クリスマス・ピッグ』



静山社

児童書

主人公の少年ジャックは、口うるさい子ブタのぬいぐるみと魔法の旅を始めます。失われたものを取り戻し、ジャックの一番の親友を見つけるために…。ハリーポッターシリーズの著者が描く、クリスマスのすてきな魔法の旅。ワクワク、ハラハラ、ドキドキの長い旅で見つけることのできた宝物と愛情に、心温まる冒険物語です。

2022年大河ドラマの時代背景

本郷 和人著 / 『日本中世史最大の謎！鎌倉13人衆の真実』



宝島社

一般書

源頼朝の死後、即位した2代将軍・頼家。若き将軍を補佐する名目で敷かれた13人の合議制だったが…。2022年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」もこの合議制に名を連ねた武将の生き様を描くものです。本書はこの鎌倉13人衆について、ビジュアル資料で分かりやすく解説しています。歴史の謎に迫る興味深い1冊です。

シニアの健康に簡単レンジ調理！

村上祥子著 / 『80歳、村上祥子さんの元気の秘訣は超かんたんレンジごはんだった！』



世界文化社

教養娯楽

シニアの健康の決め手は、「長生き調味料」と電子レンジ！80歳の現役料理家・村上祥子が、筋肉、骨、腸を健康に保つための電子レンジ調理のレシピを紹介しています。効率よく栄養素を取り込むため、全8種類の「長生き調味料」をベースに食材を組み合わせ、電子レンジで加熱するだけ。簡単に1人分でも美味しいレシピ集です。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447 (内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私のおすすめする本は「ともかくにもごはん」です。この本は、亡き夫との思い出をきっかけに「クロード子ども食堂」を開いた波子の物語です。

政府が発表している貧困率は、子どもの6人に1人が貧困状態にあると、この本に書いてありましたが、皆さんはご存じでしたか。ショッキングな数字であると思います。

今月の案内人



宮本 明美さん
(中早川区)

1クラス30人～40人とすれば5～6人の人数になります。この物語の「クロード子ども食

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『ともかくにもごはん』(小野寺 史宣著)

子ども食堂を取り巻くひとたちの生きづらさと希望を描く、老若男女群像劇。みんないるいるあるけど、あたたかいごはんを食べれば、きっと元気になれるはず。

堂」には、小学生から68歳のおじいちゃんまで、みんな様々な事情を抱えてやってきます。子どもは無料、大人は300円です。栄養バランスや材料費などを考え、子どもから大人まで食べやすく喜んでもらえるよう工夫してメニューを出しています。みんな色々あるけれど、温かいご飯を食べて、ちょっと元気になって帰っていきます。物語の最後には、主人公の波子に感動

の出会いがあり、心がほっこりする読後感です。たくさんの方に読んでいただきたい1冊です。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447 (内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶町生涯学習センター事業のご案内

クリスマスコンサートを開催します

町教育委員会が主催する自主文化事業としてクリスマスコンサートを開催します。

新型コロナ対応のため参加希望者は町社会教育課まで事前予約をお願いします。

●開催日時

12月18日(土) 午前10時30分開演

●会場

町生涯学習センター・ホール

●出演

岩井宏司さん(コントラバス)

櫻野貴史さん(ヴァイオリン)

藤本史子さん(ピアノ)

小路永和奈さん(琴)

●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)

けづくりを応援するため、ステップアップ講座を開催しています。甲佐町文化協会の伊藤二實勇さん(岩下一区)を講師に迎え、14人



▲参加者の書いた字を修正する伊藤さん親子(左)

10月26日(火)町生涯学習センターで、ステップアップ講座「のし袋の書き方を学ぶ」を開催しました。同センターでは、毎日の生活を楽しむためのきつ

町公民館主催講座 のし袋の書き方を学ぶ

がのし袋の書き方や筆ペンの使い方について学びました。

伊藤さんは、筆ペンの握り方や手の添え方などの基本を指導。参加者は伊藤さんの手書きの手本を見ながら、自身の氏名や「御祝」「香典」などの字を練習。伊藤さんの助言を受けながら楽しく学びました。

町公民館出前事業

特殊詐欺へ備えよう

10月27日(水)南三箇公民館で出前講座が開催され、参加者は「電話で『お金』詐欺(振り込め詐欺)への備えを学びました。講師を務めた町くらし安全推進室の佐々木善平室長は、参加した南三箇区の高齢者10人に、「被害者の7

割は男性?」などの特殊詐欺被害に関するクイズを出題しながら、年間400億円あまりにのぼる被害額の大きさを説明。最近の手法と被害への備えを解説しました。佐々木室長は「詐欺は年々手法が新しくなります。被害に遭わないためには、私たちも詐欺の手法について学び、備えることが大切です」と日ごろからの注意を訴えました。



▲佐々木さんから詐欺について説明を受ける南三箇区の参加者

Human Rights

人権 ~心豊かに暮らすために~

■アイヌの人々の人権

アイヌの人々は、北海道などに先住していた民族であり、固有の言語、伝統的な儀式・祭事、多くの口承文学(ユーカラ)など、独自の豊かな文化を持っています。

明治以降のいわゆる同化政策の中で、アイヌの人々の生活を支えてきた狩猟や漁労は制限、禁止され、また、アイヌ語の使用などの伝統的な生活慣行の保持が制限されました。このため、民族の誇りである文化や伝統は、十分に保存、伝承されているとは言い難い状況にあります。

さらに、アイヌの人々に対する理解が十分でないため、偏見や差別の問題が依然として存在しています。

●どんな取り組みが行われていますか

関係する主な法律等は下記の4つです。

・先住民族の権利に関する国際連合宣言(2007国連総会で採択)

・アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律(1997制定)

・アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議(2008衆参両院で採択)

・アイヌの人々の誇りが尊重される

社会を実現するための施策の推進に関する法律(2019制定)

熊本県では、民族や生活様式といった文化の違いに対する県民の寛容性を育むためにも、アイヌの伝統などに関する知識の普及啓発に努めるとともに、アイヌの人々に対する偏見や差別の解消に向けた啓発活動に取り組んでいます。

人権研修テキスト(人権全般編)より作成

●人権に関するお問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447(内線324)